広報さかわ 11月号

令和４年11月１日 発行

今月の表紙

牧野公園で撮影した、佐川町のキービジュアルと、声優であり、佐川町観光大使の小野大輔さんの２ショット。終始にこやかな表情を見せる小野さんのご厚意に甘えて撮影させて頂きました。お話も伺えましたので、ぜひ記事もお楽しみ下さい。

PICK UP CONTENTS

P２ [特集❶] キービジュアルってなに？
P３ [特集❷] 観光大使 小野大輔さんインタビュー
P４ 高北病院
P５ かわせみからのお知らせ
P７ おしらせ
P14 ボタニカルニュース
P17 さかわ観光協会
P18 さかわ発明ラボNEWS
P20 地質館だより・さくら座Information
P21 青山文庫だより
P22 としょかんだより
P23 学校だより-佐川中学校-

佐川町のPR進んでいます！

町は、牧野博士をモデルにしたNHK連続テレビ小説「らんまん」の放送に向けたPR活動「牧野富太郎博士顕彰事業」の一環として、キービジュアルを9月15日に発表しました。

キービジュアルとは、メディアや他の媒体などで中心となるイメージ画像のことで、伝えたいことが、ひとめ見ただけで伝わるようにデザインされたものです。

佐川町のこれまでのイメージを壊すことなく新しい魅力や価値観が表現できるよう考えられたキービジュアルは、テレビやウェブサイトなどへの露出、観光案内板や土産品など様々なことに活用されていきます。

モチーフとなった博士ゆかりの植物

- ワカキノサクラ
- バイカオウレン
- サカワサイシン
- ジョウロウホトトギス

皆さんのイメージする牧野博士はどのような方でしょうか？

コンセプト

このキービジュアルは、多くの人がイメージしているように帽子をかぶり、丸眼鏡で、蝶ネクタイをした陽気な牧野博士が、少年から青年期に元気よく野山を駆けまわって植物観察をしていたであろう姿で、自分の宝物ボックス（胴乱）を開け、佐川を代表する植物を「コレが僕のふるさとの植物だ～」と世の中に披露しているイメージです。

また、併せて牧野富太郎博士顕彰事業の目的である

①牧野富太郎博士を知ってもらう
②佐川町を知ってもらう
③まち全体で盛り上げる・歓迎する

ということも表現しています。

佐川町観光大使 小野大輔さんに聞く ふるさと佐川

10月某日、観光協会が発行する新しいパンフレットの撮影のため佐川町に戻られていた、小野大輔さん。町内をあわただしく巡る中、お話をうかがいました。

桜しかないと、思ってた…

佐川町に住んでいた頃…よく自転車に乗ったり歩いてたりすると、「文教の町」ってあちこち書いてあったんです。でも文教ってなんだろう？この町には何があるんだろう？って思ってました。佐川の特色というか佐川町のいいところを聞かれても、桜しかあげられなかったんですよね。

東京で気づいた…佐川の誇り

18歳の時、進学のため上京しました。「何か成し遂げるまでは」って気負ってたんでしょうか、正月も帰省せず、佐川からちょっと足が遠のいていた時代もありました。

でも東京には高知に好意を持ってくれる人も多くて、それが嬉しかったんです。

お酒が飲めるようになって、東京で居酒屋さんに入ると、たまに司牡丹が置いてあったりするんですよね。ある時、仕事仲間に日本酒は何が好きかと聞くと、「船中八策が大好き」って言ってくれたりして。すごく嬉しくて、誇らしかったです。

そんな経験をくり返した上で帰ってくると、この町には他の町に誇れるものがなんてたくさんあるんだろうと思いました。若い頃にはわからなかった佐川町の魅力に気づき、自分もそれを誇りに思えるようになったんです。

なんて見どころが多い町なんだろうと思いました。史跡であったり、歴史的な文献であったりがちゃんと残っているんです。桜だけじゃなくて牧野先生ゆかりの珍しい植物もたくさんあって。極めつけは司牡丹の酒蔵ですよね。大人はたまらないと思うような魅力に溢れている町なんです。

観光大使から見た佐川

佐川町自体が、アピールするのがそこまで得意じゃないんだと思うんです。何て言うんでしょう…奥ゆかしいんでしょうね。

小野 大輔（おの だいすけ、1978年 生まれ　佐川小学校・日本大学芸術学部卒）
声優、歌手、ナレーターとして活躍中。代表作は『ジョジョの奇妙な冒険』（空条承太郎）、『黒執事』（セバスチャン・ミカエリス）、『宇宙戦艦ヤマト2205 新たなる旅立ち』（古代進）、『おそ松さん』（松野十四松）など。